

令和6年4月26日

認定こども園 幸町保育園・分園



今年度のぱんだ組がスタートしてから早いもので1か月が過ぎ、新しい環境にも少しずつ慣れてきた子どもたち。晴れた日には園庭で砂あそびやすべり台をしたり、散歩に出かけたりと、園庭で泳ぐこいのぼりに負けないくらい、たくさん体を動かしています。また、草花を観察して「かわいいね」と触ってみたり、石や砂の塊を拾って大事に持ち歩いたり、自然にも興味津々です。室内では、どこにどのオモチャがあるのかを覚えたようで、オモチャ入れの棚を指差し「あれであそぶ」と言うように、笑顔でアピールしています。他にも、棚から好きな絵本を選び、「読んで」と膝にちょこんと座る姿もなんとも可愛らしい子どもたちです。自分の好きなあそびが見つかるにあそびこんでいますが、友だちとの追いかけても楽しいようです。そのような場合には、部屋をあそびのスペース、マラソンのスペースと仕切って、十分に体を動かすことができるようにしています。まだまだ友だちの使っているオモチャが欲しくなって取り返したり、順番が待てずに横入りしたりとトラブルになることもありますが、友だちとのやり取りを通して約束事が分かり、成長していく姿を見守っていきたいと思います。

が ん ば っ て い る よ

《うさぎグループ(1歳児)》

自分のシールマークが分かってきて、その場所に靴下や靴を片付けています。おしぼりをケースにしまうこと、おしぼりケースの開け閉めを覚えてきましたが、ケースやおしぼりに興味がいきすぎて自分の口を拭かずに片付けてしまうことも…。お家でも食後の口の拭き方を、手を添え教えてあげてみてください。

戸外あそびの準備の際は、すぐにでも外に行きたい一心から自分で靴下を履こうとする姿もみられ、少しの介助で履くことができます。そのやる気を大切にしながら、できること、頑張れることが増えていくよう、たくさんかかわっていききたいと思います。

《こあらグループ(2歳児)》

登園後、うさぎグループの靴下入れを出してしまい「違った」と照れ笑い。そんなかわいい姿もほとんど見られなくなり、こあらグループという自覚が出てきているようです。

今年のコあらグループは、「紙パンツを交換したくない」気持ちの子が多く、呼ばれてトイレに向かうのは数名です…。意思表示ができることはとっても良いことですが、もっとトイレやオマルに興味をもってもらいたいです。お家でもトイレ&オマルトレーニングに誘ってみてはいかがでしょうか♡

そして、昨年こあらグループにお世話をしてもらったことを覚えていて、今は友だち同士で取り組んだり、うさぎグループのお世話をしてくれたりしています。

おねがい



- ◎週末持ち帰った着替え袋は中身やサイズを確認のうえ、補充をお願いします。また、これからの季節、汗をかくことも多くなるため、季節や気温に合った衣服の用意をお願いします。
- ◎コップは毎日洗って持たせてください。
コップ入れや登園バックなども定期的に洗濯し、清潔を保ちましょう。